

ULT通信

2017.9.11号 / vol.72 発行 / ULT 図書館司書

2学期が始まりました！ だんだん涼しくなり、秋の夜長は読書に打ってつけですね。
どんな本を読んだらいいのかわからなければ、今回の特集を参考にしてみてください！

1学期ULT貸出回数ランキング！

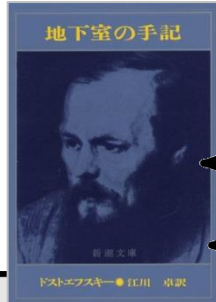
2017.4.1～2017.8.31

*ULT百選・英語多読用図書は除く

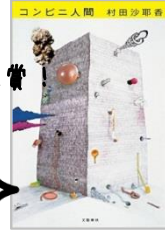
映画化！



埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本



芥川賞！



(白蜂と蜂蜜)

直木賞！
本屋大賞！



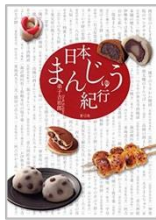
京アニ！

2・3巻も次点にゾクゾク



次点

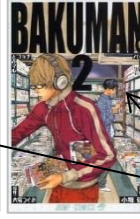
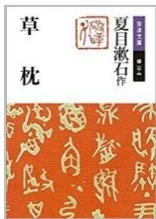
6回



映画化！



『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』の作者の本



1階の展示コーナーに出してました。

映画化したり文学賞をとったりして話題になった本、根強い人気の漫画やライトノベル、一人が繰り返し借りて時間をかけて読んだ本など、司書にはランクインの理由がなんとなくわかるもの。そんな中、『日本まんじゅう紀行』の人気ぶりはちょっと謎です。みんながそんなにまんじゅうに興味を持つとは(笑)。これからもいろいろな本を借りて、司書を驚かせてください！

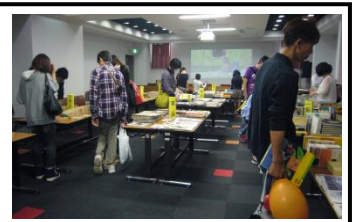
ULT NEWS

●今年もやります！古本市！！

9/30 (土) 10:00～14:00、ULT3階にて、古本市を行います。

ULTで不要になった本や雑誌などを無料で差し上げます。

白翔祭の一般公開日です。家族や他校の友達にも教えよう！



新着案内

6・7・8月の新着は244点です。一部抜粋で紹介します。

↓進学先選びの参考に。

タイトル	著者	請求記号
大学学科案内(大学受験プライムゼミブックス)	学研プラス	376.8-カツ
大合格 参考書じゃなくオレに聞け!	中田敦彦	376.8-ナカ
看護学部・保健医療学部(なるにはBOOKS. 大学学部調べ)	松井大助	376.8-ナル
理学部・理工学部(なるにはBOOKS. 大学学部調べ)	佐藤成美	376.8-ナル
理系に学ぶ。	川村元氣	402.8-カワ

↓新書*を読んでみよう!

*縦長コンパクトサイズのペーパーバックで、世間のトピックを知ったり、知識・教養を身につけるのに便利です。

タイトル	著者	請求記号
人工知能の核心(NHK出版新書)	羽生善治 ほか	007.1-ハフ
絵でわかる人工知能 明日使いたくなるキーワード68(サイエンス・アイ新書)	三宅陽一郎, 森川幸人	007.1-ミヤ
スノーデン日本への警告(集英社新書)	エドワード・スノーデンほか	316.1-Sn
儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇(講談社+α 新書)	ケント・ギルバート	302.2-Gi
人口と日本経済 長寿、イノベーション、経済成長(中公新書)	吉川洋	332.1-ヨシ
言うてはいけない 残酷すぎる真実(新潮新書)	橋玲	467.5-タチ
ウニはすごいバツタもすごい デザインの生物学(中公新書)	本川達雄	471.7-モト
サイコパス(文春新書)	中野信子	493.7-ナカ
アマゾンと物流大戦争(NHK出版新書)	角井亮一	675.4-カク
補欠廃止論(ポプラ新書)	セルジオ 越後	780.2-エチ

→小説・話題の本



タイトル	著者	請求記号
妖怪アパートの幽雅な日常 ラスベガス外伝	香月日輪	913.6-コウ-11
罪の声	塩田武士	913.6-シオ
止まりだしたら走らない	品田遊	913.6-シナ
屋上のテロリスト	知念実希人	913.6-チネ
学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで	岡田麿里	778.7-オカ
顔二モマケズ どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人の物語	水野敬也	916-ミス

コラムde11

第72回は高橋が担当です。お題は「読書と友だち、読書体験を共有した思い出」です。紹介する本は、大友克洋の『AKIRA』です。私には姉がいるのですが、姉弟揃って大の漫画好き。姉の本棚には、ちょっと大人向けの作品もあり、その中でも一際目を引くのがこの『AKIRA』でした。



『AKIRA』は1982年から「ヤングマガジン」に連載され、1988年にはアニメ映画も公開されました。私にとって、いろいろな意味で思い出深いのが映画版(DVDはULTにはありません)。初見の感想は、「怖い」の一言。出会いは小学生の夏休み。毎年夏休みになると、午前中からお昼頃までNHKでアニメ番組が放送されていました。子ども向けアニメ中心に選ばれている中、その日のラインナップになぜかこの作品が含まれていたのです。舞台は世界大戦後のネオ東京。主人公はバイク仲間の金田と鉄雄。ある日、研究所から逃げ出してきた少年との接触により超能力に目覚める鉄雄。自分の能力に気付いた鉄雄は暴走を始め、謎の存在「アキラ」をめぐる争いに巻き込まれていく。小学生の私には、ストーリー以上に映像のインパクトが強烈でした。緻密に書き込まれた背景に生々しい動きのキャラクター、不気味な演出、エンディングテーマの怪しい雰囲気…。恐怖と戦いつつ、最後まで見てしまったことが不思議ですが、引き付けられる〈何か〉があったのだと思います。

一方、早熟だった姉はこの映画版にハマったらしく、コミックスも集めていました。このコミックスの装丁がとてもカラフルでおしゃれ。全巻そろっているととても目立ちます。それゆえに、姉の本棚から漫画を借りるときには、『AKIRA』が置いてある部分をできるだけ見ないように、どきどきしながら本を探していました。そして、姉のことを「大人だな」と羨望の眼差しで見つめていたのです。それから数十年後、まさかULTで出会うことになるとは…。

『AKIRA』は原作、映画ともに世界中に熱狂的なファンを生んでいます。まさに日本のアニメーションを世界に知らしめた金字塔です。というわけで、今回のテーマは、「私の金字塔」にします。読書にはまったきっかけ、大きな影響を受けた本など、濃いコラムが期待できそうです!